

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コンパス		
○保護者評価実施期間	令和7年11月10日		～ 令和7年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年11月10日		～ 令和7年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 児童館きららに入っている事で、児童クラブの子ども達と一緒に行事等に参加する事ができている。 児童館内の各部署である児童クラブ、センター等からの理解があり、個別ケースの支援の連携や協力が取れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の職員会議で個別ケースの障がい特性、配慮する点等について情報共有を行い、児童館職員全体で理解を図る取り組みを行っている。 児童クラブの1年生との交流会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生との交流会は毎年恒例にしていきたい。 交流会だけではなく、普段からの自然な形で関わりができると良い。
2	<ul style="list-style-type: none"> 室内の空間を最大限に使い、利用者の状況に合わせ、パーティション等を使い個別スペースの確保を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援会議で共有された事を参考にし、将来を見据えた自立課題の提供を行っている。また、他事業所の見学を行い、活動内容や個別支援の内容について共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 高等部の利用者が多いため、卒業後のイメージや卒業に向けた取り組みを関係機関と共に進められると良い。 他事業所の活動場面を実際見学できると、より効果的な支援の連携が図れると思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 職員数が少ないからこそ、支援の統一や情報共有がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> チャットを活用し、利用者の様子等をタイムリーに情報共有を行っている。 研修の提案を行い、できる限り研修会に参加できるよう調整を行った。また、研修後の復命を行い支援に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日と長期休業中では、利用者の情報共有の時間を作るには難しいため、支援体制に余裕を持たせた上で職員間で共有ができると良い。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足や専門職(作業療法士や心理士)の配置がないため、SSTやペアレントトレーニング等の専門性に欠ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 人員募集をかけても勤務時間が夕方になるため人手が集まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所の専門職に研修依頼を行う等地域の放デイ事業所と合同研修会を開催し、支援者のスキルアップを図りたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 支援会議だけでは、具体的な支援内容等の情報共有を行うには時間が限られてしまうため、支援の統一が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と支援の統一をするための時間が足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関とのケース検討会議を行う事で個別ケースの支援の統一や卒業後を見据えた取り組みができる。 関係機関が集まる事で事業所の強みや役割が明確になる。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		コンパス		公表日		2026年3月1日			
		利用児童数		17名		回収数		16	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	1		・部屋だけでなく体育館や廊下で活動できて良い。 ・その年度の利用人数の特性にもよるが10人以上だと無理がありそう。 ・決して広いとは言えないスペースの中で工夫して個々のスペースを確保して下さっていると思います。	・限られた空間になってしまうため、環境整理を行い、個別スペースの確保に努めた。 ・長期休業中は体育館の時間を設けた。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	4	1	1	・職員さんが仕事を休むことを踏まえた人数にしていたらと思う。 ・職員は大変そうだなと感じます。	・利用者の受け入れ状況に応じ、支援員の補充に努めた。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				1	・子どもがその場所に慣れてしまえば良いだろうが、パーテーションだけでなく区切りは本当は壁の方が良い間と思う。	・個別に配慮が必要な利用者については、パーテーションを使用し個別化を図るように努めている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2						
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16							
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16							
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16							
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16							
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1			1	・休みの企画が良い。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	2			1	・きらら内であると思う。 ・無理に交流させることは希望しません。 ・ガッツリではないがあると思います。		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1			1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2			6	・希望していません。		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16							
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	3	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1			1			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	3		6	・希望していません。 ・父母の会的なものがそもそもない。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		2	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	1	1	・写真付きのお便りがいつも楽しみです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		2	・事故がないのでわからない。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			・あまり回数は多くないですが、利用させていただいた際はのびのび楽しんで参加させていただいて安心してお願いできています。 ・スタッフの皆さんの優しい人柄に思いきり甘えていると思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			・あまり回数は多くないですが、利用させていただいた際はのびのび楽しんで参加させていただいて安心してお願いできています。 ・たまに嫌がる時がある。 ・多分（笑）
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・あまり回数は多くないですが、利用させていただいた際はのびのび楽しんで参加させていただいて安心してお願いできています。 ・いつも寄り添っていただきありがとうございます。 ・いつも細かく様子を伝えて下さり、いろんなことを考えて支援して下さっていると感じています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コンパス			公表日		2026年3月1日		
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			3	・パーテーションで区切り、個別のスペースを確保している。 ・マットを敷いて遊びやすく、開わりを持ちやすくしている。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	5	・支援内容によっては支援者を増員している。		・ギリギリのラインの配置だと感じる。 ・利用曜日、長期休業中では支援員の数は足りないと思う。 ・個別の支援を行いたい場合は、もう少し支援者数が多い方がいいと思う。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		・名前やマークを付けたり、顔写真を貼り、分かりやすくしている。 ・パーテーションで仕切っている。				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5		・帰った後の消毒や掃除はできている。 ・手狭にはなるが、床に座る時はマットを使用している。 ・物を棚にしまったことで広々としたスペースになった。 ・きららの体育館、図書室の共有スペースがあるので良い。				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		・必要に応じてパーテーションを使い個別化を図っている。 ・年齢や過ごし方、体調や気分に応じてアコーディオンカーテンを使用している。		・常に空きスペースを設けていない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		・支援者会議で都度確認し改善に努めている。 ・会議で振り返りをしたり、気になる事は相談できている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	1			・年に2回評価アンケートを行っているが、改善につながっていないか。 ・評価表だけでなく、送迎時やお迎え時に保護者の気持ちを把握できると良い。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		・面談等で気持ちを聞いてもらえるので、話しやすいです。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		3	1	・今年度は色々な研修を受ける事ができた。 ・他事業所の見学を計画し、情報共有を図る事ができた。支援内容、活動内容の参考になった。		・支援者の希望する研修の取りまとめを行い、計画的に研修ができると良い。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		4	1	・チーム支援はできていると思う。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	1				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・その日には毎回できてはいないが、気になる事はタイムリーにチャットで共有している。	・毎日できていないので、日課として組めると良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	・その日には毎回できてはいないが、気になる事はタイムリーにチャットで共有している。	・毎日できていないので、日課として組めると良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		・検証にまでつながっていない事がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に一度見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		・学校（特に地域校）との連携は難しく感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・養護学校お迎え時には申し送りができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2		・サービス向上部会に参加している。 ・児発管が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	・契約時に行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・面談は行っていないが、送迎時に話を聞いたりしている。 ・送迎時やお迎え時にコミュニケーションを取っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・きららの避難訓練に参加している。(年数回) ・お便りに避難訓練の様子を記載している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			・コンパス独自ではやっていない。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		・安全計画の内容がわからない。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		2			・安全計画の内容がわからない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			・対象児には家人への説明含め行っている。		